

1 題材 自分を知らう

2 題材設定の理由

(1)

学級の人間関係作りには級友同士の相互理解、相互受容が欠かせない。中学生は青年期前期にあたり、自我の確立が発達課題である。「自分自身のことを級友からどのように思われているか」、生徒たちはとても気になっているように思う。自分のことを良く思えたり(過大評価)、反対に悪く思えたり(過小評価)して、心が揺れ動いている。自分を知ることは、自分の良さを知ることである。そして、自分らしく生きていくことの一つの手立てになると考える。また、一人ひとりの生徒が自分の良さに気づき、伸ばしていこうという意欲を育てていきたいと考え、この題材を設定した。自分自身を見つめ自分を知ること、級友からの助言を通して自分の良さの理解を深めることにより、多面的な自己理解が促されていくものと考え。

自分を知ることは自分の特性を知り、将来の進路選択のときにとても役に立つ。この題材は職業調べ、上級学校調べ等、今後の進路学習につながっていく。しかし、その前提として、自分を知らなければならない。中学校3年間を見通したとき、とても大切な題材であると考え。

(2)

男子20名、女子17名の計37名の学級である。授業の始めと終わりの挨拶がとても元気よく、笑顔が絶えない、学級集団として、1つのまとまりを感じる学級である。男女ともに仲が良く、授業中、お互いに教え合う場面が見られる。級友のがんばりを拍手で称え合い、認め合うことのできる学級である。しかし、学校生活を送っていくなかで、人間関係のトラブルも見られるようになってきた。このことから、生徒たちは表面上の付き合いで、“自分と気が合う人・気が合わない人”という単純で浅い視点で、級友関係を捉えているところもある。なかなか「級友の良さ」に気づき、それを肯定的に認めて、一段と高まり深め合って、付き合うまで至っていないような気がする。また、学級は生徒一人ひとりが構成員の学級の【仲間】という意識が低いように思う。

これまで、様々な学校行事等を通して、一つの学級としてのまとまりを積み重ねてきた。中学校に入学してから1年が過ぎようとしている時期に、学級の締め括りとして、改めて学級の仲間を意識した活動をしていきたい。1年間、同じ教室で過ごした仲間の良さに気づくとともに、学級への所属感をさらに高めていきたい。そして、良い思い出と心地好い気持ちで、2年生への生活の橋渡しになるようにしていきたい。

(3)

この題材では、人間の性格を肯定的に表した言葉から、自分の特性と級友の特性を3つ選ぶ活動を行う。自分自身で思っている自分の良さと、級友から見た自分の良さを比べることにより、自分のことをより深く知る機会を得るように思う。この活動は生活班で行う。日頃から、係活動等を一緒に行っているため、より深く班のメンバーのことを知っているように思う。人間には良い面もあれば、悪い面もある。日頃の活動を通して、友だちのことをより深いところで捉えることができると思う。しかし、生徒は肯定的に人の良さを捉えることが難しいように思える。この授業では班のメンバーの良さを肯定的な言葉から選ぶ活動を通して、人の良さを見つめるまなざしと自分を大切にすることを養いたい。

この題材を指導するにあたり、構成的グループエンカウンター(SGE)を活用する。話し合い活動を重視し、活動を通して、感じたこと、思ったことを分かち合うことにより、新たな気づきを大切にしていきたい。お互いの良さを話し合う場面を通して、自己存在感や自分の良さを知り、自己理解と他者理解を図っていきたい。また、より良い自分をつくるためには、どんな点を伸ばし、どのような点を改善していけば良いのか、考えるきっかけを与えたい。自分を知ることは、大人でも難しい。その気持ちを共有しながら、指導にあたっていきたい。

3 指導計画(3時間)

自分を知らう	第1時	人と個性について、考える。
	第2時	自分の特色、友だちの良さを知らう。(本時)
	第3時	男女の理解と協力について、考える。

4 本時の学習 (2/3)

(1) ねらい

自分の特色を知るとともに、お互いの良さを知り、人間関係をより豊かなものにしていく。

(2) 本時の計画

生徒の活動	学習形態	資料・用具	教師の支援と評価
<ul style="list-style-type: none"> ・人の個性について、教師の話聞く。 ・本時の学習のねらいについて、確認する。 	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の自画像を掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個性(=人の良さ)について、説話をする事により、本時の活動の動機付けをする。 ・本時の学習の流れを把握できるように、私について、事前に学年の先生方に書いてもらった自画像〔資料. 1〕を紹介する。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の良さについて、29項目の肯定的な言葉から3つ選んで、言葉で書く。 ・生活班のメンバーの良さについて、29項目の肯定的な言葉から3つ選んで、言葉を書く。 ・グループになり、班長が司会して、ワークシートをもとにグループのメンバー各自の良さについて、発表し合う。 ・この活動を通して、もう一度、自分について、振り返る。 ・グループ内で、簡単な意見交換をする。 	個別 グループ	ワークシート プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・良く考えて、記入するように、じっくりと時間をとる。 <p>じっくりと自分を見つめ、友だちを見つめているか。(観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の受け取り方について、深刻にならないように指導する。 <p>グループ内で、メンバーの良さを見つめようと努めているか。(支援)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手が選んだ言葉と自分が選んだ言葉との違いに気づかせる。 ・お互いの良さに気づかせる。 <p>この活動を通して、自分の良さに気づき、自己理解を図られたか。(記述)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を言い合うことにより、分かち合うことの大切さを実感させる。
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を振り返り、プリントに「感じたこと、思ったこと」をまとめる。 ・学級全体で、本時の活動を振り返る。 ・本時のまとめ 	個別 一斉	プリント	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通して感じたことや思ったことを素直に表現できるように支援する。 ・お互いの良さを知り、学級内の人間関係をより豊かなものにしていく言葉掛けをする。 ・教師の感想、自己理解、相互理解の大切さを伝える。や